

ワルシャワ美術アカデミー月例報告書【6月】

●大学

1. 学期末最終プレゼンテーション

6月の2週目に、学期末の最終プレゼンテーションを迎えた。この1週間ですべての授業のプレゼンが行われた。一緒に授業を受けていた学生や教授、また他の学生も自由に発表を見ることができる。彼らがみている中で、実際の制作物とプレゼンテーションのスライドを使って発表した。私は、2つの授業で発表をしたが、ただ1つは企業と連携したコンペティション形式の授業だったため、次の週に企業の人に向けた2回目の発表も行った。



2. 展示会

プレゼンテーションが終わった1週間後の土曜日には、展示会が開催された。半年間の制作物が一堂に展示されるこの機会には、大学関係者だけでなく外部からも多くの来場者が訪れた。自身の作品が現地の方々の目に触れる、また他の学生の制作物もたくさん見ることができる貴重な機会になった。オープニングセレモニーでは、この半年間で優秀作品を作った学生やコンペティションで入賞した学生が発表された。私は、ライトがテーマの授業で入賞することができた。また、同日にはパーティも開催された。この展示会は、今後の制作活動においても非常に刺激的な経験になったと感じる。





●クラクフ旅行

大学の活動を終えた後、ポーランド南部の都市クラクフを訪れた。そこで強く印象に残ったのは、ワルシャワとの街並みの対比だ。戦後に再建されたワルシャワの建物に対し、クラクフは古い町並みがほぼそのままの形で残っているものも多く、建物の歴史を肌で感じることができて面白かった。また、各地の教会や美術館、大学を巡る中で、単純に美しいものに触れたり、現地の歴史を学んだりすることができた。



●まとめ

この半年間、ワルシャワ美術アカデミーで学ぶことができて本当に良かったと思う。専門性が高い教授の方々やレベルが高い学生達に刺激を受けながら作品を作ることができたからだ。この経験は今後の制作活動に役立つものになったと思う。また、ワルシャワは生活しやすいし、勉強しやすい環境が多いし、とても良い都市だと感じた。機会があればまた行きたいと思える場所だ。